

読
音

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

不安の時代と 革命。

激動の世紀の“魂の叫び”
The 20th Century's Outcry

欧洲で注目を浴びるイスラエルの鬼才
イラン・ヴォルコフ 指揮

ドイツを拠点に活躍する若き本格派
河村尚子 ピアノ

プロコフィエフ：アメリカ序曲 変ロ長調 作品42
バーンスタイン：交響曲 第2番「不安の時代」
ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 二短調 作品47

読売日本交響楽団 第578回 定期演奏会

2018 5.30(水) 19:00 サントリーホール

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

ILAN VOLKOV, Conductor HISAKO KAWAMURA, Piano

PROKOFIEV: American Overture, in B flat major, op. 42

BERNSTEIN: Symphony No. 2 "Age of Anxiety"

SHOSTAKOVICH: Symphony No. 5 in D minor, op. 47

Subscription Concert, No. 578

Wednesday, 30th May 2018 19:00 Suntory Hall

<http://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 協力：アフラック 後援：イスラエル大使館

激動の20世紀を 生きた二人の作曲家の 魂の叫びを聴く!



©James Mollison

イラン・ヴォルコフ 指揮 ILAN VOLKOV, Conductor

古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、欧州で注目を浴びる鬼才。1976年イスラエル生まれ。2003年からBBCスコティッシュ響首席指揮者を務め、09年から同響の首席客演指揮者を務めている。2011年から14年まではアイスランド響音楽監督・首席指揮者を務めた。これまでにバイエルン放送響、ケルン放送響、ニューヨーク・フィル、シュトゥットガルト放送響、BBC響、バーミンガム市響、アンサンブル・アンテルコンタンボランなどを指揮。オペラでは、サンフランシスコ・オペラ、グランドボーン音楽祭などで活躍。「テクトニクス・フェスティヴァル」のキュレーターを務め、現代音楽をエレクトロニクスやロックなどと組み合わせ、ジャンルを超えた新しいプログラムを各地で企画している。

イスラエルの俊英指揮者イラン・ヴォルコフが《定期演奏会》に初登場し、20世紀の二つの大国、米ソを代表する作曲家が命を削って書いた交響曲、バーンスタイン「不安の時代」とショスタコーヴィチ「革命」に挑む。激動の時代を生き抜いた両者の魂の叫びを、ヴォルコフが鮮烈なタクトで露にする。

今年生誕100年を迎える20世紀アメリカの偉大な音楽家バーンスタインは、優れた指揮者であり、ピアニスト、作曲家だった。交響曲第2番は、「不安の時代」という副題が示すようにシリアルで深いテーマを扱った作品。バーンスタインは、30歳を目前にした1947年夏に、英國生まれの作家H.W.オーデンの新作詩集「不安の時代」に出会い、作曲を始めた。物語は、第二次世界大戦中のニューヨークを舞台に、孤独な男女4人が出会いと別れを通して人生の意味を模索するという内容。6つの楽章に分かれた音楽は、登場人物たちの孤独と喪失感、刹那的な逃避などを描き、新たな人間愛に目覚める壮大な終結部を迎える。独奏ピアノが、登場人物の心理描写を担うようになって進むのも特徴だ。国際的に活躍する若き名手・河村尚子が、ジャズやポピュラー音楽の要素も散りばめた作品で、共感に満ちた演奏を展開するだろう。

ショスタコーヴィチの交響曲第5番は、スターリン独裁体制が確立し、文化・芸術を共産党が蹂躪した時代に作曲された。1936年1月、共産党中央機関誌『プラウダ』紙が、ショスタコーヴィチの歌劇『ムツエンスク郡のマクベス夫人』を激しく批判し、作曲家の友人や親戚たちも逮捕・処刑された。そんな彼の危機を救うきっかけになったのが、37年11月にムラヴィンスキイ指揮のレニングラード・フィルによって初演された交響曲第5番だった。苦難を乗り越えて、歓喜へと至る音楽に観客は喝采し、初演は大成功を収めた。以後、ショスタコーヴィチは体制側からも評価され、名誉を回復することになる。しかし、作曲家がこの曲で何を表現したかったのかは、今日まで様々な議論が続いている。真相は闇に包まれたままだ。

この両作品を結ぶ役目を果たすのが、1曲目のプロコフィエフ「アメリカ序曲」。1926年にアメリカの自動演奏ピアノ製造会社が、プロコフィエフに依頼した純粹な明るさに満ちた音楽だ。

プロコフィエフはショスタコーヴィチと同時代に活躍し、またアメリカ出身の指揮者バーンスタインはショスタコーヴィチ「革命」を得意としていた。まさに、二つの大国が対峙した激動の20世紀を映す記念プログラムなのだ。

河村尚子 ピアノ

HISAKO KAWAMURA, Piano

ドイツを拠点に国際的に活躍する若き本格派。ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、ミュンヘン国際コンクール第2位入賞、クララ・ハスキル国際コンクール優勝を果たし、一躍世界の注目を浴びた。これまで、テミルカノフ、ルイージ、ヤノフスキ、エドセーエフ、ビエロフラーヴェクら巨匠の指揮で、ウィーン響、バイエルン放送響、ベルリン放送響、チェコ・フィルなど一流楽団と共に演奏している。欧州各地でリサイタルを行うほか、室内楽活動も積極的に展開。今年5月から「ベートーベン・ピアノ・ソナタ・シリーズ」を開始する。RCA Red Sealレーベルなどから数々のCDをリリース。2015年からエッセン・フォルクヴァング芸術大学の教授を務めている。読響には2009年に初登場し、多く共演している。



©Marco Borrelli

読売日本交響楽団 第578回 定期演奏会

2018年 5月 30日(水)19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

・東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分・東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■ 学生券:学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証／25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可 / チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017